

2019年度モニタリング環境調査分析機関報告データ

生物

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:生物(pg/g-wet)
 地方公共団体:鳥取県
 調査地点:天神川(倉吉市)
 調査生物:カワウ

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	190,000	※11	※33
[1-1] モノクロロビフェニル類	tr(1)	1	3
[1-2] ジクロロビフェニル類	5	2	5
[1-3] トリクロロビフェニル類	910	1	4
[1-4] テトラクロロビフェニル類	5,200	1	4
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	12	0.7	1.9
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (#81)	10	0.6	1.6
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	36,000	1	3
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	3,600	0.6	1.6
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#114)	300	0.9	2.2
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#118)	17,000	0.8	2.0
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#123)	240	0.6	1.5
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#126)	96	0.7	1.8
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	99,000	1	3
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#156)	2,700	0.8	2.0
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	710	0.8	2.1
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	1,600	0.7	1.7
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	44	0.8	2.1
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	37,000	1	3
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (#170)	5,200	0.8	2.2
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	12,000	1	3
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	410	0.8	2.1
[1-8] オクタクロロビフェニル類	9,400	1	3
[1-9] ノナクロロビフェニル類	1,400	1	3
[1-10] デカクロロビフェニル	760	0.6	1.6
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	3,200	1	3
[11] HCH類	1,000	※6	※15
[11-1] α-HCH	63	2	4
[11-2] β-HCH	950	1	3
[11-3] γ-HCH (別名:リンデン)	7	1	4
[11-4] δ-HCH	4	2	4
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	1,400	※120	※330
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	210	7	18
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	130	7	18
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	150	4	10
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	tr(7)	4	10
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	480	8	21
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	58	8	21
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	280	8	21
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	260	9	24
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183)	nd	9	24
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	330	7	17
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	nd	20	50
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	nd	70	190
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	360	2	6
[16] ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	27	2	6
[17] ペンタクロロベンゼン	470	1	3
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類	1,100	※27	※70
[19-1] α-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	1,100	9	24
[19-2] β-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	nd	9	24
[19-3] γ-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	nd	9	22

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:生物(pg/g-wet)
 地方公共団体:鳥取県
 調査地点:天神川(倉吉市)
 調査生物:カワウ

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[20] 総ポリ塩化ナフタレン	170	※15	※40
[20-1] モノ塩化ナフタレン類	nd	2	4
[20-2] ジ塩化ナフタレン類	nd	2	5
[20-3] トリ塩化ナフタレン類	tr(2)	2	5
[20-4] テトラ塩化ナフタレン類	66	2	6
[20-5] ペンタ塩化ナフタレン類	68	2	6
[20-6] ヘキサ塩化ナフタレン類	35	1	4
[20-7] ヘプタ塩化ナフタレン類	nd	2	4
[20-8] オクタ塩化ナフタレン	nd	2	6
[22] ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類	520	※5	※13
[22-1] ペンタクロロフェノール	430	4	10
[22-2] ペンタクロロアニソール	91	1	3
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	3,800	※1,200	※3,000
[23-1] 塩素化デカン類	tr(600)	300	900
[23-2] 塩素化ウンデカン類	1,400	200	500
[23-3] 塩素化ドデカン類	tr(500)	500	1,200
[23-4] 塩素化トリデカン類	1,300	200	400
[24] ジコホル	nd	10	30

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。